

政策分野等	1 防災・生活安全	更新日	令和8年5月12日
施策等	1 防災・減災対策の充実	担当部	建設部
基本的な方向性等	4 台風や局地的大雨による浸水被害を軽減するため、河川の整備・維持管理や雨水対策施設の充実などの治水対策を推進します。		

施策を構成する事業						
番号	事業名	8年度 事業区分	事業費（千円）		継続 評価	担当課
			7年度 （決算）	8年度 （予算）		
1	雨水流出抑制対策（雨水貯留浸透施設等）	継続	175	300	○	河川排水課
2	坂下地区排水路整備	継続	60,042	78,466	○	河川排水課
事業費合計			60,217	78,766		

関連する 総合計画 成果指標	指標名	直近値（年度）	目標

総合計画成果指標や施策を構成する事業の成果に基づく効果検証			
効果 (進捗状況)	○	◎：期待する又は期待以上の成果があった ○：現状維持 △：期待する成果がなかった	
理由 (主な成果 や課題を踏 まえた効果 検証等)	浸水被害の軽減のため、計画的に排水路及び地下貯留施設の整備を進めてきた。また、国においては庄内川の堤防整備や河床掘削が行われ、県においては地蔵川のポンプ場、八田川の堤防が整備され、内津川の整備が進んでいる。 近年発生頻度が高まっている局地的集中豪雨などの対応が求められているため、民間による雨水流出抑制対策の更なる推進により施設整備と併せた総合的な治水対策を進めていく必要がある。		
今後の 方向性 (課題解決 の方策等)	施策の取組方針	○	◎重点・強化 ○維持 △縮小
	継続して計画的に排水路の整備を図っていく。 事業者や市民に対して雨水流出抑制対策の重要性を継続して周知していく。		

関連する附属機関の意見等

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	1-1-4-1																																	
事業名	雨水流出抑制対策（雨水貯留浸透施設等）			最終更新日	令和8年5月28日																																	
実施根拠	特定都市河川浸水被害対策法 春日井市開発行為等に関する指導要綱 春日井市雨水流出抑制施設設置指導要綱 春日井市雨水貯留浸透施設設置補助金交付要綱			担当課	河川排水課																																	
関連計画	—		関連する 附属機関	—																																		
総合計画 施策体系	政策分野等	1 防災・生活安全			基本計画 重点方針																																	
	施策等	1 防災・減災対策の充実																																				
	基本的な 方向性等	4 台風や局地的大雨による浸水被害を軽減するため、河川の整備・維持管理や雨水対策施設の充実などの治水対策を推進します。																																				
目的・ 事業概要	【目的】 流域の開発等による洪水流出量の増大等により常に水害の危険に脅かされ、また、従来どおりの浸水対策施設の整備のみでは早急な治水安全度の向上は困難である。そこで、市民や事業者による雨水貯留浸透施設等の設置により雨水流出抑制をすることで浸水被害の軽減を図る。 【事業概要】 ○雨水浸透阻害行為許可 新川流域における500㎡以上の開発等を行う場合の許可 ○雨水流出抑制施設設置指導 市内全域における500㎡以上の開発等を行う場合の設置指導 ○雨水貯留浸透施設設置補助 雨水貯留施設・雨水浸透施設・浄化槽転用施設の設置に対する補助																																					
	事業期間	平成15年度 ～																																				
過去の経緯、 主な実績等	実績 雨水浸透阻害行為許可 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>件数</th><th>対策量(㎡)</th><th>年度</th><th>件数</th><th>対策量(㎡)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td><td>14</td><td>1029.67</td><td>令和6年度</td><td>33</td><td>29367.77</td></tr> <tr> <td>令和5年度</td><td>16</td><td>632.16</td><td>令和7年度</td><td>32</td><td>4810.83</td></tr> </tbody> </table>					年度	件数	対策量(㎡)	年度	件数	対策量(㎡)	令和4年度	14	1029.67	令和6年度	33	29367.77	令和5年度	16	632.16	令和7年度	32	4810.83															
	年度	件数	対策量(㎡)	年度	件数	対策量(㎡)																																
	令和4年度	14	1029.67	令和6年度	33	29367.77																																
	令和5年度	16	632.16	令和7年度	32	4810.83																																
雨水流出抑制施設設置指導による設置 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>件数</th><th>対策量(㎡)</th><th>年度</th><th>件数</th><th>対策量(㎡)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td><td>4</td><td>40.04</td><td>令和6年度</td><td>6</td><td>2284.63</td></tr> <tr> <td>令和5年度</td><td>6</td><td>193.10</td><td>令和7年度</td><td>0</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>					年度	件数	対策量(㎡)	年度	件数	対策量(㎡)	令和4年度	4	40.04	令和6年度	6	2284.63	令和5年度	6	193.10	令和7年度	0	-																
年度	件数	対策量(㎡)	年度	件数	対策量(㎡)																																	
令和4年度	4	40.04	令和6年度	6	2284.63																																	
令和5年度	6	193.10	令和7年度	0	-																																	
雨水貯留浸透施設設置補助 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>種別</th><th>件数</th><th>年度</th><th>種別</th><th>件数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">令和4年度</td><td>浸透枳</td><td>0</td><td rowspan="3">令和6年度</td><td>浸透枳</td><td>0</td></tr> <tr> <td>雨水タンク等</td><td>8</td><td>雨水タンク等</td><td>12</td></tr> <tr> <td>浄化槽転用</td><td>0</td><td>浄化槽転用</td><td>0</td></tr> <tr> <td rowspan="3">令和5年度</td><td>浸透枳</td><td>1</td><td rowspan="3">令和7年度</td><td>浸透枳</td><td>0</td></tr> <tr> <td>雨水タンク等</td><td>9</td><td>雨水タンク等</td><td>7</td></tr> <tr> <td>浄化槽転用</td><td>0</td><td>浄化槽転用</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					年度	種別	件数	年度	種別	件数	令和4年度	浸透枳	0	令和6年度	浸透枳	0	雨水タンク等	8	雨水タンク等	12	浄化槽転用	0	浄化槽転用	0	令和5年度	浸透枳	1	令和7年度	浸透枳	0	雨水タンク等	9	雨水タンク等	7	浄化槽転用	0	浄化槽転用	0
年度	種別	件数	年度	種別	件数																																	
令和4年度	浸透枳	0	令和6年度	浸透枳	0																																	
	雨水タンク等	8		雨水タンク等	12																																	
	浄化槽転用	0		浄化槽転用	0																																	
令和5年度	浸透枳	1	令和7年度	浸透枳	0																																	
	雨水タンク等	9		雨水タンク等	7																																	
	浄化槽転用	0		浄化槽転用	0																																	
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)																																
			300千円	175千円	286千円	290千円																																
	特定財源	国・県支出金	千円	千円	千円	千円																																
		その他	千円	千円	千円	千円																																
	一般財源		300千円	175千円	286千円	290千円																																

7年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等) 実績				
	事業名		年度	件数	対策量(m³)
	雨水浸透阻害行為許可		令和7年度	32	4810.83
	事業名		年度	件数	対策量(m³)
	雨水流出抑制施設設置指導 による設置		令和7年度	0	—
成果指標	事業名		年度	種別	件数
	雨水貯留浸透施設設置補助		令和7年度	浸透枳	0
				雨水タンク等	7
				浄化槽転用	0
	指標名		目標値(年度)	7年度	6年度
これまでの 取組みによる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	雨水浸透阻害行為許可については、法律に基づき適正に事務を行っている。 雨水流出抑制施設設置指導については、要綱に基づき適正に指導を行っている。 雨水貯留浸透施設設置補助については、一定の申請件数を維持しているものの、特定都市河川である新川流域エリア内の申請件数がまだまだ少ないため、各種広報媒体やイベントを通じて、同エリア内での補助制度の認知度を増加させる必要がある。		
			◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった —：評価なし		
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 雨水流出抑制施設設置指導及び雨水貯留浸透施設設置補助について、事業者や市民にその重要性を理解していただけるよう引き続き広報やホームページ、消費生活展などの各種イベントでPRしていく。				
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)			
	継続	○雨水浸透阻害行為許可 新川流域における500㎡以上の開発等を行う場合の許可について法に基づいて適切に処理する。 ○雨水流出抑制施設設置指導、雨水貯留浸透施設設置補助 事業者や市民に重要性を理解していただけるよう引き続き広報やホームページなどでPRしていく。このほか、さまざまな機会にPRする。			

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	1-1-4-2	
事業名	坂下地区排水路整備			最終更新日	令和8年5月28日	
実施根拠	地方自治法第244条			担当課	河川排水課	
関連計画	—		関連する 附属機関	—		
総合計画 施策体系	政策分野等	1 防災・生活安全			基本計画 重点方針	1
	施策等	1 防災・減災対策の充実				
	基本的な 方向性等	4 台風や局地的大雨による浸水被害を軽減するため、河川の整備・維持管理や雨水対策施設の充実などの治水対策を推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 本市は、令和4年度に「春日井市排水基本計画」を改訂し、10年に1回程度発生する降雨量に変化倍率を乗じた69.3mm/hに対応できる施設計画を示すとともに、これに基づき排水施設の整備を進めている。 しかし、未整備の地区においては既存雨水施設の能力が不足しているため、多少の降雨でも浸水被害が発生しており、早急な雨水対策が望まれている。そのため、浸水被害が多く発生している坂下地区において、「春日井市排水基本計画」に基づく排水施設を整備する。 【事業概要】 既存排水路の増強・排水路の新設					
	事業期間	令和3年度～				
過去の経緯、 主な実績等	【実績】 - 令和3年度 基本設計 A=55ha - 令和4年度 詳細設計（U300～400） L=218m - 令和5年度 詳細設計（□900×1300、VUΦ600） L=286m 排水路整備（U300～400） L=212m - 令和6年度 流出解析設計 A=55ha 排水路整備（VUΦ600、□900×1300外） L=101m - 令和7年度 詳細設計（VUΦ400～600外） L=318m 排水路整備（VUΦ600） L=100m					
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			78,466千円	60,042千円	116,459千円	36,151千円
	特定財源	国・県支出金	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源		78,466千円	60,042千円	116,459千円	36,151千円

7年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等) 詳細設計（VUΦ400～600 外） L=318m 排水路整備（VUΦ600） L=100m					
成果指標	指標名		目標値（年度）	7年度	6年度	5年度
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	計画降雨に対応する雨水施設の設計及び関係機関と調整を行っている 令和7年度までに排水路（□900×1300外）を413m整備済み			
			◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし			
今後の 方向性	（課題解決のために必要な方策等） 令和8年度以降に施工する箇所が、交通量の多い現道上や狭隘な箇所での工事となるため、周辺への影響を加味した工法選定、施工方法を検討する。 密に地元へ説明を行い、円滑な工事の進捗を図る。					
8年度の 主な実施内容	区分	（前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等）				
	継続	排水路詳細設計（□800×800 外） L=681m 排水路整備（VUΦ600 外） L=295m				

政策分野等	1 防災・生活安全	更新日	令和8年5月21日
施策等	3 交通安全対策の強化	担当部	建設部
基本的な方向性等	2 交通安全施設の整備や交通事故防止対策など生活道路の安全確保を図るとともに、歩行者や自転車利用者の安全対策を行い、事故が発生しにくい環境づくりを推進します。		

施策を構成する事業						
番号	事業名	8年度 事業区分	事業費（千円）		継続 評価	担当課
			7年度 （決算）	8年度 （予算）		
1	交通安全施設整備	継続	81,822	2,500	○	道路課
事業費合計			81,822	2,500		

関連する 総合計画 成果指標	指標名	直近値（年度）	目標
	交通事故件数（件）	8,977(3年度)	8,600

総合計画成果指標や施策を構成する事業の成果に基づく効果検証			
効果 （進捗状況）	○	◎：期待する又は期待以上の成果があった ○：現状維持 △：期待する成果がなかった	
理由 （主な成果 や課題を踏 まえた効果 検証等）	・通学路の点検により改善が必要な箇所は、グリーンベルトの設置など整備を実施し、通学路の安全を確保した。 ・自転車専用通行帯を整備し、地域の住民や学校などに交通ルールに関する周知を行って、安全で快適な自転車利用環境づくりを進めた。		
今後の 方向性 （課題解決 の方策等）	施策の取組方針	◎	◎重点・強化 ○維持 △縮小
	春日井市通学路安全対策プログラム実施要領に基づき、道路管理者、学校、警察及び教育委員会などの関係機関が連携を図りながら、グリーンベルトや防護柵の設置など、安全に配慮した道路整備を行い、交通事故を発生させない環境づくりに取り組む。 春日井市自転車活用推進計画に基づき、自転車通行空間を整備することにより、自転車ネットワークを形成して、自転車や、歩行者、自動車とともに安全で快適に通行できる環境をつくる。		

関連する附属機関の意見等

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	1-3-2-1	
事業名	交通安全施設整備			最終更新日	令和8年5月21日	
実施根拠	交通安全施策等整備事業の推進に関する法律			担当課	道路課	
関連計画	第12次春日井市交通安全計画		関連する 附属機関	—		
総合計画 施策体系	政策分野等	1 防災・生活安全		基本計画 重点方針	1	
	施策等	3 交通安全対策の強化				
	基本的な 方向性等	2 交通安全施設の整備や交通事故防止対策など生活道路の安全確保を図るとともに、歩行者や自転車利用者の安全対策を行い、事故が発生しにくい環境づくりを推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 交通事故を防止するため、道路における交通安全施設を整備する。 【事業概要】 - 通学路安全対策プログラム等による整備 区画線、防護柵、グリーンベルトなどの設置 - 自転車通行空間整備					
	事業期間	令和8年度 ～ 令和12年度				
過去の経緯、 主な実績等	- 平成27年度に春日井市通学路安全対策プログラム実施要領が施行された。 (平成30年度改正) - 令和2年度に春日井市自転車活用推進計画が策定された。 計画期間 令和3年度～令和12年度 10年間 【主な実績】 - 通学路安全対策プログラム等による整備 - 令和5年度 区画線・カラー塗装 5,766m - 令和6年度 区画線・カラー塗装 41,950m - 令和7年度 区画線・カラー塗装 11,479m - 自転車通行空間整備 - 令和5年度 3路線 3.2km - 令和6年度 1路線 0.4km - 令和7年度 1路線 0.2km(自転車通行空間整備のための側溝整備)					
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			2,500千円	81,822千円	76,046千円	92,403千円
	特定財源	国・県支出金	千円	10,000千円	5,280千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源		2,500千円	71,822千円	70,766千円	92,403千円

7年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等)					
	・通学路安全対策プログラム等による整備 区画線・カラー塗装 延長 11,479m 事業費 29,496千円					
成果指標	指標名		目標値（年度）	7年度	6年度	5年度
	通学路での子どもの交通事故死者数		0人（12年度）	0人	0人	0人
	自転車通行空間の整備延長（市道）		56.6km（12年度）	21.8km	21.8km	21.4km
これまでの 取組みによる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	【成果】 ・通学路の点検により改善が必要な箇所は、グリーンベルトの設置など整備を実施した。 ・自転車専用通行帯を整備し、地域の住民や学校などに交通ルールに関する周知を行った。 【課題】 ・通学路の安全を確保するため、危険箇所は速やかに対応する必要がある。 ・自転車通行空間の面的な整備により、自転車ネットワークを形成するとともに、交通安全教育を推進し、交通ルールの遵守及び交通マナーの向上を図る必要がある。			
		◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ―：評価なし				
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 春日井市通学路安全対策プログラム実施要領に基づき、道路管理者、学校、警察及び教育委員会などの関係機関が連携を図りながら、グリーンベルトや防護柵の設置など、安全に配慮した道路整備を行い、交通事故を発生させない環境づくりに取り組む。 春日井市自転車活用推進計画に基づき、自転車通行空間を整備することにより、自転車ネットワークを形成して、自転車や、歩行者、自動車とともに安全で快適に通行できる環境をつくる。					
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	・通学路の交通安全施設整備 事業費 2,500千円				

第六次総合計画 施策点検シート

政策分野等	5 都市基盤・産業	更新日	令和8年5月11日
施策等	1 都市基盤整備の推進と公共交通の整備	担当部	建設部
基本的な方向性等	4 やすらぎを感じ、地域に愛される空間の承継と創出を図るため、良好な河川環境の保全、緑化の推進、公園や街路樹の整備・維持管理などを行うほか、これらにおける市民参加を促進します。		

施策を構成する事業						
番号	事業名	8年度 事業区分	事業費（千円）		継続 評価	担当課
			7年度 （決算）	8年度 （予算）		
1	落合公園再整備	継続	64,001	346,500	—	公園緑地課
2	公園築造	継続	3,212	110,000	○	公園緑地課
3	地元及び愛護団体による公園の維持管理	継続	41,291	45,190	○	公園緑地課
4	緑化推進支援	継続	8,635	9,500	○	公園緑地課
事業費合計			117,139	511,190		

関連する 総合計画 成果指標	指標名	直近値（年度）	目標
	1人あたり公園面積（㎡）	11.7 （2025年度）	12.0 （2027年度）

総合計画成果指標や施策を構成する事業の成果に基づく効果検証			
効果 （進捗状況）	○	◎：期待する又は期待以上の成果があった ○：現状維持 △：期待する成果がなかった	
理由 （主な成果 や課題を踏 まえた効果 検証等）	落合公園再整備は、当初の予定どおり進んでおり、今年度工事に着手できる見込みである。 土地区画整理事業に伴う新規公園の整備においては、ワークショップにより地域住民の声を整備内容に反映させるなど、公園に愛着を持ってもらえるよう努めている。 公園愛護団体の育成や補助金など、市民が積極的に緑化に取り組む環境の整備に努め、一定の効果を上げてきた。		
今後の 方向性 （課題解決 の方策等）	施策の取組方針	○	◎重点・強化 ○維持 △縮小
	開園して30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる落合公園については、令和7年度落合公園再整備実施設計を踏まえ、春日井市のシンボルとして、市民にさらに親しまれる公園となるよう、再整備を実施する。 土地区画整理事業地内の新規公園整備にあたっては、ワークショップにより、地域の幅広い世代から意見を求め、整備内容に反映するなど、多世代が楽しめる憩いの場として魅力の向上に努める。 引き続き、市民が緑に関心を持ち、自らが参加して快適な環境を創出できるよう取り組むとともに、令和7年度から開始した保存樹等維持管理支援事業等により、緑豊かな環境の保全を図る。		

関連する附属機関の意見等

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	5-1-4-1	
事業名	落合公園再整備			最終更新日	令和8年5月11日	
実施根拠	落合公園利活用方針			担当課	公園緑地課	
関連計画	都市計画マスタープラン、立地適正化計画、緑の基本計画、公共施設等マネジメント計画		関連する 附属機関	—		
総合計画 施策体系	政策分野等	5 都市基盤・産業		基本計画 重点方針	2	
	施策等	1 都市基盤整備の推進と公共交通の整備				
	基本的な 方向性等	4 やすらぎを感じ、地域に愛される空間の承継と創出を図るため、良好な河川環境の保全、緑化の推進、公園や街路樹の整備・維持管理などを行うほか、これらにおける市民参加を促進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 美しい桜などの景観機能を活かしつつ、にぎわいを創出し、子育て世代を始めとする多くの方の憩いの場となるよう、落合公園の再整備を行う。 【事業概要】 落合公園の再整備 (多目的広場、遊具広場、水遊び施設 など)					
	事業期間	令和5年度 ～ 令和10年度				
過去の経緯、 主な実績等	令和3～4年度 落合公園の利活用方針検討【企画政策課】 (トライアルサウンディング実施)					
	令和5年度 落合公園再整備基本計画					
	令和6年度 落合公園再整備基本設計					
	令和7年度 落合公園再整備実施設計、落合公園樹木等撤去工事					
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			346,500千円	64,001千円	29,717千円	11,904千円
	特定財源	国・県支出金	137,200千円	28,000千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源		209,300千円	36,001千円	29,717千円	11,904千円

第六次総合計画 事業点検シート

7年度 の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等)					
	落合公園再整備実施設計、落合公園樹木等撤去工事					
成果指標	指標名		目標値(年度)	7年度	6年度	5年度
これまでの 取り組みによる効果 (進捗状況)	—	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	令和5年度基本計画及び令和6年度基本設計時にパブリックコメントを実施、再整備への機運醸成と市民意見の反映に努めてきた。 再整備工事にあたっては、公園施設の利用制限等を利用者へ十分に周知する必要がある。 事業効果は再整備後に現れるため、予定どおり進める必要がある。			
	◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった —：評価なし					
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 再整備工事中の円滑な利用者案内に努める。 利用者に十分配慮して予定どおり工事を進める。					
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	再整備工事に着手する。 ・落合公園再整備工事(土木) ・落合公園大屋根外8棟整備工事 ・落合公園フォリー(水の塔)改修工事				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	5-1-4-2	
事業名	公園築造			最終更新日	令和8年5月11日	
実施根拠	都市再生整備計画（熊野桜佐地区）			担当課	公園緑地課	
関連計画	都市計画マスタープラン、緑の基本計画、公共施設等マネジメント計画		関連する 附属機関	—		
総合計画 施策体系	政策分野等	5 都市基盤・産業			基本計画 重点方針	2
	施策等	1 都市基盤整備の推進と公共交通の整備				
	基本的な 方向性等	4 やすらぎを感じ、地域に愛される空間の承継と創出を図るため、良好な河川環境の保全、緑化の推進、公園や街路樹の整備・維持管理などを行うほか、これらにおける市民参加を促進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 新たに整備する身近な公園に対し、愛着と誇りを持って利用してもらえるよう、住民参加によるワークショップを通じて地域における公園のあり方を検討し、地域が主体となった利活用を見据えた公園整備を行う。 【事業概要】 土地区画整理事業の進捗に合わせた公園築造 ・熊野桜佐地区 9公園					
	事業期間	令和3年度 ～				
過去の経緯、 主な実績等	令和3年度 高見公園、桜佐公園ワークショップ 令和4年度 高見公園、桜佐公園築造 令和5年度 あがた公園、野崎公園ワークショップ 令和6年度 あがた公園、野崎公園築造 令和7年度 牛毛公園ワークショップ					
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			110,000千円	3,212千円	105,791千円	5,027千円
	特定財源	国・県支出金	58,400千円	3,212千円	29,000千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源		51,600千円	千円	76,791千円	5,027千円

第六次総合計画 事業点検シート

7年度 の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等)					
	牛毛公園ワークショップ、生目公園地元協議					
成果指標	指標名		目標値(年度)	7年度	6年度	5年度
	1人あたり公園面積 (㎡)		12.0(9年度)	11.7	11.7	11.6
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	地元住民を対象としたワークショップを開催することにより、地域にとって愛着のある公園を計画・築造している。 春日井熊野桜佐土地区画整理事業の進捗に合わせる必要があるため、組合と連携を図り事業を進める。			
			◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし			
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) ・春日井熊野桜佐土地区画整理組合と調整を行い、適切なタイミングでワークショップ及び公園築造を行う。					
8年度 の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	牛毛公園、生目公園の築造工事を実施する。				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	5-1-4-3	
事業名	地元及び愛護団体による公園の維持管理			最終更新日	令和8年5月11日	
実施根拠	緑の基本計画			担当課	公園緑地課	
関連計画	—		関連する 附属機関	—		
総合計画 施策体系	政策分野等	5 都市基盤・産業		基本計画 重点方針	1	
	施策等	1 都市基盤整備の推進と公共交通の整備				
	基本的な 方向性等	4 やすらぎを感じ、地域に愛される空間の継承と創出を図るため、良好な河川環境の保全、緑化の推進、公園や街路樹の整備・維持管理などを行うほか、これらにおける市民参加を促進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 地元区・町内会及び地域住民による公園愛護団体に除草・清掃作業を委託し、公園により愛着を持って利用してもらうとともに、地域コミュニティの醸成を図る。 【事業概要】 地元及び愛護団体による公園の除草、清掃					
	事業期間	平成21年度 ～				
過去の経緯、 主な実績等	令和3年度	217団体（愛護団体67団体）	410公園			
	令和4年度	212団体（愛護団体68団体）	398公園			
	令和5年度	210団体（愛護団体67団体）	386公園			
	令和6年度	204団体（愛護団体67団体）	401公園			
	令和7年度	200団体（愛護団体65団体）	379公園			
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			45,190千円	41,291千円	39,174千円	36,310千円
	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源		45,190千円	41,291千円	36,310千円	37,477千円

7年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等) ・公園除草清掃委託（地元及び愛護団体） 379 公園					
成果指標	指標名		目標値（年度）	7年度	6年度	5年度
	地元管理公園数		420（10年度）	379	401	386
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	高齡化や町内会加入率の低下に伴い、公園管理を行っていただける地元区・町内会等が減少している。 令和5年度に愛護団体の条件を緩和したため、令和6年度は地元による管理公園数が改善した。 令和7年度に委託料を値上げしたことで、除草清掃辞退申し出の際に再考し、辞退を撤回した団体があった。			
	◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし					
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 公園の除草・清掃作業にかかる負担の軽減や委託単価の見直しにより、地元及び愛護団体による公園管理が維持できるよう支援を行う。 地元区・町内会での管理ができなくなった場合には、子供会や地元有志等による公園愛護団体での除草・清掃を行っていただけるよう促していく。					
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	・委託料の見直し 40 円／㎡ (R7：35 円／㎡ R6：30 円／㎡)				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	5-1-4-4	
事業名	緑化推進支援			最終更新日	令和8年5月11日	
実施根拠	春日井市緑化の推進に関する条例 緑の基本計画			担当課	公園緑地課	
関連計画	—		関連する 附属機関	—		
総合計画 施策体系	政策分野等	5 都市基盤・産業		基本計画 重点方針	1	
	施策等	1 都市基盤整備の推進と公共交通の整備				
	基本的な 方向性等	4 やすらぎを感じ、地域に愛される空間の承継と創出を図るため、良好な河川環境の保全、緑化の推進、公園や街路樹の整備・維持管理などを行うほか、これらにおける市民参加を促進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 緑を守り、緑あふれる美しいまちづくりを推進するため、市民団体等が主体的に実施する緑化ボランティア活動等に対し助成する。					
	【事業概要】 『緑の奨励金』 春日井市緑化振興基金を活用し、市民団体等が行う植栽活動に対し、植栽した苗木、花苗、植栽に必要な道具、肥料等に要した経費の半額を補助する。 『あいち森と緑づくり事業』 民間企業等が行う緑化活動に対し、植栽基盤（土壌改良等）の整備にかかる経費や植栽した苗木、花苗等に要した経費のうちの一定額を補助する。 『保存樹等維持管理支援事業』 保存樹等の維持保全を図るため、管理者が行う維持管理作業にかかる経費の一部を補助する。					
	事業期間	『緑の奨励金』平成29年度～ 『あいち森と緑づくり事業』令和3年度～ 『保存樹等維持管理支援事業』令和7年度～				
過去の経緯、 主な実績等	【緑の奨励金事業】 令和3年度 3件 押沢台きれいなまちづくりクラブ、高座台緑を育てる会、石尾台4丁目自治会 令和4年度 2件 押沢台きれいなまちづくりクラブ、高座台緑を育てる会 令和5年度 3件 押沢台きれいなまちづくりクラブ、高座台緑を育てる会、櫛ヶ丘自治会 令和6年度 1件 高座台緑を育てる会 令和7年度 1件 高座台緑を育てる会					
	【あいち森と緑づくり事業】 令和3年度 空地緑化及び生垣設置 2件 令和4年度 空地緑化及び生垣設置 3件 令和5年度 空地緑化 4件 令和6年度 空地緑化及び生垣設置 3件 令和7年度 空地緑化及び生垣設置 3件 【保存樹等維持管理支援事業】 令和7年度 樹木診断 2件、補助金交付 21件					
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			9,500千円	8,635千円	3,403千円	7,160千円
	特定財源	国・県支出金	8,400千円	8,195千円	3,352千円	7,057千円
		その他	1,100千円	440千円	51千円	103千円
	一般財源		0千円	0千円	0千円	0千円

7年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等) 【緑の奨励金事業】 1件 高座台緑を育てる会 【あいち森と緑づくり事業】 空地緑化、生垣設置 3件 【保存樹等維持管理支援事業】 樹木診断 3件、補助金交付 21件					
成果指標	指標名		目標値（年度）	7年度	6年度	5年度
	あいち森と緑づくり事業 実施箇所数		5（12年度）	3	3	4
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	【緑の奨励金事業】 ・活用団体が減少傾向にあるため、緑化ボランティア団体へ制度をさらに周知していく必要がある。 【あいち森と緑づくり事業】 ・令和7年度は、募集期間初期で予算に到達したため、3件で応募を締め切ったものの、令和8年度より補助上限額を500万円から200万円に改正したことから、今後はより多くの申請が期待できる。 【保存樹等維持管理支援事業】 ・令和7年度からの新規事業であり、今後も利用推移を注視していく必要がある。また、年度末に保存樹の所有者に対し、利用案内を発送し、啓発に努めている。			
	◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし					
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 各制度の利用促進に向け、広報やホームページに掲載するなど周知・啓発に努める。					
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	【緑の奨励金】300千円 【あいち森と緑づくり事業】8,000千円 ※補助上限額を200万円に引き下げ 【保存樹等維持管理補助事業】1,200千円				

政策分野等	9 地域資源を活用した活力の創出	更新日	令和8年6月1日
施策等	1 公共施設等の効果的な活用	担当部	建設部
基本的な方向性等	1 既存施設の長期活用 2 付加価値の創出 3 未来への投資		

施策を構成する事業						
番号	事業名	8年度 事業区分	事業費（千円）		継続 評価	担当課
			7年度 （決算）	8年度 （予算）		
1	公共施設等マネジメントの推進	継続	1,680	1,677	◎	施設管理課
事業費合計			1,680	1,677		

関連する 総合計画 成果指標	指標名	直近値（年度）	目標

総合計画成果指標や施策を構成する事業の成果に基づく効果検証			
効果 (進捗状況)	○	◎：期待する又は期待以上の成果があった ○：現状維持 △：期待する成果がなかった	
理由 (主な成果 や課題を踏 まえた効果 検証等)	【主な成果】 - 公共施設個別施設計画（短期アクションプラン）に基づく事業の進捗管理及び、全庁的な視点で工事・修繕の優先度を判定することにより、効果的・効率的な工事・修繕予算の執行が可能となった。 【課題】 - 中長期的な財政負担の軽減と平準化		
今後の 方向性 (課題解決 の方策等)	施策の取組方針	○	◎重点・強化 ○維持 △縮小
	公共施設個別施設計画に基づき、計画的な維持管理や更新等を行うことで、施設の長期活用とともに、財政負担の軽減と平準化を図る。		

関連する附属機関の意見等

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	9-1-1・2・3-1	
事業名	公共施設等マネジメントの推進			最終更新日	令和8年6月1日	
実施根拠	春日井市公共施設等マネジメント計画			担当課	施設管理課	
関連計画	—		関連する 附属機関	—		
総合計画 施策体系	政策分野等	9 地域資源を活用した活力の創出		基本計画 重点方針	政策分野等	
	施策等	1 公共施設等の効果的な活用				
	基本的な 方向性等	1 既存施設の長期活用 2 付加価値の創出 3 未来への投資				
目的・ 事業概要	【背景】 人口減少や少子高齢化による人口構造の変化に伴う税収入の減少や扶助費等の義務的経費の増加による財源不足が今後予測される中、主に1960年代から1980年代にかけて急激な人口増加や市民ニーズなどに応じて積極的に整備してきた「公共施設」や「インフラ資産」の多くは老朽化が進行し、今後、次々と大規模改修や建替えといった更新時期を迎えることになり、今ある公共施設等を適切に維持管理できなくなることが懸念される。 【目的】 公共施設等マネジメント計画をもとに、市民サービスの質の維持を前提とした施設の長期活用や維持管理コストの抑制等により、効率的な資産経営を行い、次世代に良質な公共施設等を引き継いでいく。 【内容】 公共施設等マネジメント計画に基づき、施設台帳の整備や施設カルテの公表等の取組を行うとともに、施設ごとに具体的な維持管理や更新等の対応方針を示した公共施設個別施設計画（短期アクションプラン）に基づく事業の進捗管理を行う。					
	事業期間	平成29年度 ～ 令和28年度				
過去の経緯、 主な実績等	【経緯】 平成28年2月 春日井市公共施設等のあり方に関する基本方針策定 平成29年2月 春日井市公共施設等マネジメント計画策定 平成29年4月 管財契約課に施設マネジメント・検査担当を設置し、計画推進の取組を開始。 令和2年3月 春日井市個別施設計画策定 令和4年3月 春日井市公共施設等マネジメント計画改訂 令和7年3月 春日井市公共施設個別施設計画一部改訂 【令和元年度実績】 - 公共施設個別施設計画策定 - 施設台帳整備 - 施設カルテ・施設評価公表 - 予算配分調整 【令和3年度実績】 - 春日井市公共施設等マネジメント計画改訂 - 施設台帳整備 - 施設カルテ・施設評価公表 - 予算配分調整 【令和6年度実績】 - 春日井市公共施設個別施設計画一部改訂 - 施設台帳整備 - 施設カルテ・施設評価公表 - 予算配分調整					
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			1,677千円	1,680千円	1,684千円	1,682千円
	特定財源	千円	千円	千円	千円	
		千円	千円	千円	千円	
	一般財源		1,677千円	1,680千円	1,684千円	1,682千円

7年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等) - 施設台帳整備 - 施設カルテ・施設評価公表 - 予算配分調整					
成果指標	指標名		目標値（年度）	7年度	6年度	5年度
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	◎	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	- 公共施設個別施設計画（短期アクションプラン）に基づく事業の進捗管理及び、全庁的な視点で工事・修繕の優先度を判定することにより、効果的・効率的な工事・修繕予算の執行が可能となった。 【課題】 - 中長期的な財政負担の軽減と平準化			
	◎：期待する又は期待以上の効果があった　○：現状維持　△：期待する効果がなかった　―：評価なし					
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 公共施設個別施設計画に基づき、計画的な維持管理や更新等を行うことで、施設の長期活用を図るとともに、財政負担の軽減と平準化を図る。					
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	公共施設個別施設計画改定				